

あいとぴあレインボープラン

粕江市高齢者保健福祉計画

進捗管理

令和4年度報告書

目次

序章	はじめに	1
1	進捗管理	3
2	本報告書の構成	3
3	進捗評価の方法	3
4	進捗評価の流れ	6
第1章	進捗管理シート	7
第2章	委員会からの意見シート	15

序章 はじめに

1 進捗管理

市では、令和3年3月にあいとぴあレインボープラン(狛江市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画)(以下「本計画」という。)を策定し、「みんなで支え合いながら、自分らしく健康に暮らし続けられるまち～あいとぴあ狛江～」を基本理念とし、この基本理念を踏まえた8つの基本目標を設定しました。そこで、本計画の実効性を担保し着実な進展を図るため、前年度の取組状況について、狛江市福祉基本条例第26条第1項の規定により設置された狛江市市民福祉推進委員会高齢小委員会で、本計画のうち狛江市高齢者保健福祉計画の進捗状況の把握や評価を行うこととします。なお、本計画のうち第8期介護保険事業計画の進捗状況の把握や評価については、狛江市介護保険条例第20条の規定により設置された狛江市介護保険推進市民協議会において行うこととします。狛江市高齢者保健福祉計画は、第8期介護保険事業計画と一体的に策定しているため、進捗状況の把握や評価に当たっては、整合性を図りながら行います。

2 本報告書の構成

(1)進捗管理シート

市職員が計画に位置付けられた施策及び事業を着実に実施するとともに、当該年度における実施状況及び課題を市民に分かりやすく説明するため、重点施策に係る事業のうち新規及び拡充し実

施する事業について、当該年度に実施したことを「Do(実行)」の欄に、当該事業の実施結果を踏まえた重点施策の評価を3(2)で示す基準に従い「Check(評価)」の欄に、当該事業の課題及び改善点を「Act(事業を実施するに当たっての課題及び改善点)」の欄に記載します。

(2)委員会からの意見シート

(1)の進捗管理シートを踏まえて、狛江市市民福祉推進委員会高齢小委員会からいただいた御意見を「委員会からの意見」の欄に記載し、次年度の施策の実施に反映します。

3 進捗評価の方法

平成26年7月に、市が策定している計画の評価基準を4段階に統一し、取組の強化を図るべき評価の目安が示されたことを踏まえ、狛江市市民福祉推進委員会での議論、検討を行い、下記のとおり評価基準とします。

(1)評価方法

施策の方向性ごとに4段階で評価します。

(2) 評価基準

評価基準	評価指標
A (進捗している)	当該施策に係る事業の当該年度までの年次目標の70%以上を達成できた
B (現状維持)	当該施策に係る事業の当該年度までの年次目標の40%以上70%未満を達成できた
C (あまり進捗していない)	当該施策に係る事業の当該年度までの年次目標の20%以上40%未満を達成できた
D (全く進捗していない)	当該施策に係る事業の当該年度までの年次目標の0%以上20%未満を達成できた

具体的な施策の評価方法は次のとおりです。

【例】 施策1に係る4つの事業の令和4(2022)年度の年次目標の達成状況が次のとおりであった場合

		令和4年度の年次目標の達成状況
施策1	事業 a	達成
	事業 b	未達成
	事業 c	未達成
	事業 d	達成

この場合、事業aから事業dまでの令和4(2022)年度の達成率は2/4で50%となりますので、評価はBとなります。

(3) 担当課について

あいとぴあレインボープラン狛江市高齢者保健福祉計画進捗管理 令和4年度報告書(案)を含む、各計画進捗管理報告書における各事業の「担当課」は以下のとおり表示します。

高…高齢障がい課

4 進捗評価の流れ

令和4年度の狛江市高齢者保健福祉計画の進捗管理は、次表のとおり市民福祉推進委員会高齢小委員会において進捗評価を審議し、確定いたしました。

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	担当課による自己評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">高齢小委員会①</div> 報告書（案）を審議					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">高齢小委員会②</div> 報告書(案)を確定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">次期計画に反映</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">庁議</div> 報告書を報告	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">報告書をHPに公開</div>		

第1章 進捗管理シート

基本 目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
1	地域資源の育成							
	(1)	【新規】医療・介護・地域資源マップシステムを用いて地域包括ケアシステムを支える地域資源を育成します。					B	
	a	医療・介護・地域資源マップシステムを用いて、立ち上げ初期の地域資源の情報発信基盤を確保します。	高	129	-	情報発信基盤として確保した地域資源を常に最新情報として維持するため、情報の適時更新を継続して実施した。		引き続き、地域資源情報の適時更新を実施する。

基本 目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
2	社会参加と地域貢献による生きがいづくり							
	(1)	【新規】生きがいポイントを利用した小さな社会参加で自己実現の機会を創出します。					A	
	a	ボランティアや特定のイベント等、自己の関心のある事業に参加して自己実現を図り、かつ、その活動に対するポイントが付与されることによるインセンティブで更なる意欲を高める仕組みを実現します。	高	130	-	昨年度に引き続き、インセンティブで更なる意欲を高める仕組みとして、スマートフォンアプリを用いた「高齢者等生きがいポイント事業」を実施した。7月・11月には、広報誌一面を使用した周知等を図ったことで、令和3年度末に148人であった登録者数は、令和4年度末時点で263人まで拡大した。		現在、ポイント取得対象となるイベント等の活動は、主に市の事業に限定されているため、より幅広いポイント獲得の手段を検討する必要がある。また、気軽に取り組める活動として、歩行距離や歩数によるポイント獲得機能等の検討も必要と考える。

基本 目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
2	社会参加と地域貢献による生きがいづくり							
	(2)	【新規】こころ潤う、人とつながる高齢者の出会いの場を提供します。					A	
	a	一緒に楽しめるパートナーを探している人、異性がいる場に参加することにより張り合いができて元気になりたい人等の出会いの場を設けます。気軽に継続的に参加しやすい仕組みを作ります。	高	130	-	コロナ禍ではあったが、実施可能な手段・方法を模索し、地域包括支援センターの各圏域ごとに、一人暮らしの高齢者を対象とした「大人の社会科見学」、「パン作り大会」、「こまえ転入者のつどい」等を出会いの場として試行的に実施した。		試行実施の好調な結果を踏まえ、本格実施へとつなげる。市内・市外における活動等、目的別に出会いの場講座を連続して開催し、参加者自らが企画にも携わり、互いに協力し合うことで、人とつながる関係を構築する。

基本 目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
4 日常生活支援の充実								
(1) 【新規】地域課題検討会議を中心に、既存の会議組織を再編し、施策につながる小さな成果を確実に集めることができる仕組みづくりを進めます。							A	
	a	地域課題検討会議を中心に、各会議体の機能を整理・再編の上、議論・検討結果を集約し、施策化につなげます。	高	134	-	再編した会議組織において、抽出された課題の議論・検討を重ね、集約を行った。その後、最も優先度の高い課題について、その課題に適した会議体で解決方法を議論し、課題解決に向けた取組みを行った。		引き続き、整理・再編された会議機能を活用し、日常生活支援の充実を図る。

基本目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
6 認知症バリアフリー社会を創る								
	(1)	【新規】認知症サポーターを支援するチームオレンジを創設します。					A	
	a	「チームオレンジ」を創設し、地域で暮らす認知症の方やその家族の困りごとと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みを構築します。	高	138	-	「チームオレンジ」の担い手養成を目的とした認知症サポーターステップアップ講座(1回)を開催し、活動希望者の登録を行った。 「チームオレンジ」の先進地(清瀬市)を関係者と視察した。		認知症サポーターステップアップ講座を基礎編と応用編に再編し、活動希望者がスムーズに「チームオレンジ」の担い手となるよう体制を整える。 視察結果を参考に、チームオレンジの創設に向け準備を進める。

基本 目標	施策	Plan (主な事業内容)	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (事業を実施するに当たっての課題及び改善点)
7	介護保険制度の円滑な運営							
	(2) 【拡充】介護サービスの質の向上を図ります。						C	
	a	地域密着型サービスの利用を促進します。	高	141	-	地域密着型サービスのうち、小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護サービスが未整備であるため、事業者公募を2回行った。その際、公募促進のため、HPや広報の他、都内及び川崎市で運営実績のある事業者に公募の通知を送付した。また、2回目の公募の際には、チラシを作成し、日頃から狛江市内外の宅地建物の取引を行っている東京都宅地建物取引業協会と全日本不動産協会に公募について周知の協力依頼を行った。		公募事業者がなかったことから、引き続き次年度もサービス提供基盤の整備に向け、事業者の公募を2回行う予定である。令和4年度と同様の周知に加え、公募に結び付くような周知方法を検討していく。

第2章 委員会からの意見シート

基本 目標	施策	委員会からの意見
4	<p>日常生活支援の充実</p> <p>(1) 【新規】地域課題検討会議を中心に、既存の会議組織を再編し、施策につながる小さな成果を確実に集めることができる仕組みづくりを進めます。</p>	<p>●「最も優先度の高い課題について、その課題に適した会議体で解決方法を議論し、課題解決に向けた取組みを行った」ことは評価できる。</p>
6	<p>認知症バリアフリー社会を創る</p> <p>(1) 【新規】認知症サポーターを支援するチームオレンジを創設します。</p>	<p>●チームオレンジの皆さんが、実際にチームで一人ひとりの在宅認知症高齢者の方をサポートする活動を展開する時が楽しみです。</p> <p>●認知症サポーターの活動の場を設けることや、サポーターの活動状況の把握、サポーターへのアンケート、市民からのインタビューなど、更に活動向上に向けての方向性を検討する必要があると思います。</p> <p>●令和5年5月から認知症カフェ内でチームオレンジとしての活動を行っておりますが、認知症サポーターとしては、その役割がまだ明確になっていないため「理解者」「応援者」という大きな括りに留まっている印象です。今後明確に「支援者」としての位置付けを見出すためにも、チームオレンジとしての活動の具体化と周知、浸透化を図り、そうした中でサポーターの役割を明確にすることで、さらなるチームオレンジ内でサポーターの活動が広がることに期待します。</p>

基本 目標	施策	委員会からの意見
7	<p>介護保険制度の円滑な運営</p> <p>(2) 【拡充】介護サービスの質の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 狛江市においては今後も 20 数年にわたって第1号被保険者及びその中の後期高齢者人口が増大するとともに、高齢者のみ世帯、高齢者単身世帯も増加すると見込まれており、家族による在宅介護力が減退していくことが予想されます。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができる環境を、さらに整えていくため、地域密着型サービスの基盤整備を進めていくことが重要です。 ● 運営実績のある事業者に公募の通知書を送付するような公募の周知方法を工夫するだけでなく、公募参加への働きかけを強化するなど応募事業者を増やすための施策も検討していただきたい。 ● 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護だけでなく、在宅サービスの「短期入所」施設や施設サービスの「介護老人保健施設」など、市内に不足しているサービスは他にもあるため、地域密着型サービスに限らず市内の実情に合わせて幅広いサービスを整える必要があるかと思えます。 ● 地域密着型サービスについて、今現在のサービス利用者がかなり少ないとはいえ、これから5年・10年のサービス利用見込み者の推計を見ると、市内にサービス提供事業者を誘致する必要があるかと思えます。

刊行物番号 R5-44

あいとぴあレインボープラン
(狛江市高齢者保健福祉計画)

進捗管理
令和4年度報告書
令和6年3月発行

発行 狛江市

編集 狛江市福祉保健部福祉政策課

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03-3430-1111(代)

頒布価格 30円